

バドミントン未来創造アカデミーのご案内

みなさんの応援を受け、わたしたちの代表選手は東京 2020 に向けて好調です。先日も、タイで開催された国別対抗戦で、女子は 37 年ぶりにユーパー杯を日本に持ち帰り、男子も前回 (2014 年) のトマス杯優勝に続く決勝進出で、史上初の男女ダブル優勝に挑みました。今後の更なる躍進を予感させる堂々たる戦いぶりに、多くのバドミントンファンが興奮し、2 年後の期待がさらに膨らんだことでしょう。

もっと多くの人に、バドミンントンの魅力を知ってもらいたい! あらためてそう思った方も多いはずです。しかし、バドミンントンをプレーしている 15 歳以上の男女は人口の 7.5%、その人たちの一年間のプレー回数は 12.8 回に過ぎません (レジャー白書 2017)。さらに、「バドミンントンを見てみたいという人」は 2.5%で (読売新聞世論調査 2013)、この中には先のプレー人口 7.5%の相当数が含まれているものとみられます。

バドミンントンの盛りの一方、国民の人気や関心という点ではまだまだバドミンントンの根は十分に広がってはおらず、一部の根強いファンの力と支援によって支えられている段階にあると言えるでしょう。その意味では開拓の余地が非常に大きいスポーツ、それが私たちのバドミンントんです。

2 年後、2020 年に日本で開催されるオリンピックは、他の国際大会などとは異なり、「オリンピズム」なるオリンピック特有の理念を追求するムーブメントの頂点に位置する祭典です。スポーツによって人々の生き方、社会のあり方をさらにより良いものに高めようとするオリンピズムに反し、2012 年ロンドン大会で失格者を出すという不名誉な足跡を残しました。名誉挽回のためには、オリンピズムに対するバドミンントンの理解と啓発をうながすだけではなく、バドミンントンをオリンピズムの普及ツールとして活かすなど、オリンピック・ムーブメントへの貢献が求められます。東京 2020 はそのチャンスです。

日本バドミンントン協会としては、バドミンントンの更なる発展に欠かせない文化的基盤の創造に貢献し、オリンピズムの浸透にも寄与できる人材の育成を急務ととらえ、これを推進すべく、《バドミンントン未来創造アカデミー》を創設しました。

本アカデミーによって育成される人材こそ、バドミンントン界にとっての東京オリンピックのレガシー (遺産) となり、バドミンントン界の新たなリーダーとしてその活躍が大いに期待されます。

実施募集要項をご覧ください、奮ってご応募下さいますようご案内申し上げます。

**バドミントン未来創造アカデミー2018
実施募集要項**

1. 目的

バドミントン界の将来を担う知恵と行動力、その修得に向けた意欲とを総合的に備えた人材を育成するため、バドミンントンの歴史的発展と世界各国におけるすぐれた取り組み、制度や環境、それらを支える哲学や価値観について研修し、中央・地方の協会、各連盟等の活動などにてその成果を積極的に発揮・展開するよう促進する。

2. 研修

(1) 内容

日本バドミントン界の未来を展望し、その開拓と創造に必要な取り組みを構想するため、わが国におけるバドミンントンの現状と歴史、課題を正しく理解すると共に、古今東西のバドミンントンに関わる模範的な実践や失敗事例などについて、今年は特にイギリスに学ぶ研修とする。

*研修プログラムは決定次第、協会HPにて公開します。

(2) 方法

研修の大半は国内にて講義、討論、フィールドワークほか、一部は海外視察（参加を希望する研修生より4名を選抜する）にて行う。

(3) 日時・場所

第1回	平成30年 8月19日(日)	10:00~17:00	東京都内
第2回	平成30年 9月16日(日)	10:00~17:00	東京都内
第3回	平成30年10月14日(日)	10:00~17:00	東京都内
第4回	平成30年11月11日(日)	10:00~17:00	東京都内
第5回	平成30年12月 9日(日)	10:00~17:00	東京都内
第6回	平成31年 1月13日(日)	10:00~17:00	東京都内
第7回	平成31年 2月10日(日)	10:00~17:00	東京都内
第8回	平成31年 3月 3日(日)から 4日(月)		成田市内 *
第9回	平成31年 3月 5日(火)から 16日(土)		イングランド *
第10回	平成31年 3月21日(木・祝)から 23日(土)		東京都内

*第8回及び9回は、海外研修の参加者を対象に行う。

*日程は、変更となる場合があります。

(4) 海外研修訪問都市・場所等

英国、主にイングランド バーミンガムほか

3. 応募条件

(1) 年齢

研修期間中に16歳～30歳である者（男女の別は問わない）

(2) 定員数

最大9人（このうちの希望者から4人を選抜し、海外研修に派遣する）

(3) 義務

- ・全回の国内研修に参加することに加え、日頃より自主研修に努める。
- ・研修生を代表し海外研修に参加するか、またはその支援を積極的に行う。
- ・研修報告書を作成し、発表または提出する。
- ・フォローアップ調査（研修終了後の活動等について）への回答に協力する。
- ・次年度以降の本事業ほか本会が行う事業・活動等への協力を努める。

4. 講師・引率者等

本会の役職員・部員のほか、本会が委嘱する外部識者、専門家等が当たる。

5. 参加費

10,000円（但し、海外派遣者はプラス40,000円）

なお、研修への参加に関わる国内・海外の移動、滞在及び研修終了後の帰郷に要する交通費は本会にて負担する。

これ以外（副食費、旅券発行手数料、予防接種料、旅行保険料、個人荷物の運搬料、疾病又は障害の治療費用及びそれに付随する費用、通信費、小遣いその他の個人の用に必要な経費など）は各自にて負担する。

6. 選考及び結果通知

応募書類により審査（一次選考）を行い、一次選考の通過者に対し筆記と面接による試験（二次選考）を以下の通り実施する。

なお、応募書類の返却、他への提供・転用は行わない。

(1) 日時・場所

平成30年8月5日（日） 10:00～17:00 東京文化会館を予定

(2) 受験費用

無料（但し、試験会場までの往復交通費及び宿泊費等は各自にて負担する。）

(3) 結果の発表（郵便通知による）

《一次選考》結果 平成30年7月11日（水）前後

《二次選考》結果 平成30年8月10日（金）前後

(4) その他

研修生の希望に基づき、また、国内研修及び自主研修での取り組みなどを考慮し、研修生の中から4人を海外研修に派遣するものとする。その選考及び決定は9月末日までに行う。

7. 応募の手続き

(1) 応募書類

以下の書類様式を本会 HP からダウンロードし、各1通を提出すること。

- ①出願書 (様式1) 全員
- ②志願理由書 (様式2) 全員
- ③親権者同意書 (様式3) 未成年 (20歳未満)
- ④学校長確認書 (様式4) 高校、高専 (3年以下) に在籍する者

(2) 提出先

公益財団法人日本バドミントン協会

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

*「バドミントン未来創造アカデミー2018 出願書類在中」と朱書きのこと

(3) 方法

簡易書留にて郵送のこと

(4) 期限

平成30年7月2日(月) 必着

8. 問い合わせ先

公益財団法人 日本バドミントン協会

事務局 (電話) 03-3481-2382

(メール) nba@badminton.or.jp

「バドミントン未来創造アカデミー2018」 出願書

フリガナ		性別	男 女
応募者氏名			※○をつける
生年月日	平成 年 月 日 (歳)	学年 (学校在籍者)	
在籍 (学校・会社名など)			
現住所	〒		
バドミントン 活動の実績 (クラブ、部活動など)			
※ 提出書類	①出願書(様式1) この用紙 ②志願理由書 (様式2) 全員 ③親権者同意書(様式3) 未成年(20歳未満) ④学校長確認書(様式4) 高校、高専(3年以下)に在籍する者		

「バドミントン未来創造アカデミー2018 実施募集要項」の記載事項に従い、上記のとおり応募します。

平成 年 月 日 本人署名 _____

本出願書の提出に伴い提供いただく個人情報は公益財団法人日本バドミントン協会が実施する選考審査における個人情報確認のためのみ利用し、保管に十分注意します。ただし、審査通過者については氏名等を本会ホームページ及び新聞などのマスコミに情報提供する場合があります。本出願書の提出に伴い提供いただく個人情報は審査終了後2年間保管し、その後廃棄いたします。

様式3：公益財団法人日本バドミントン協会

「バドミントン未来創造アカデミー2018」

親権者同意書

(未成年(20歳未満)の者は、親権者(保護者など)の同意が必要です)

応募者氏名	
-------	--

上記の者が「バドミントン未来創造アカデミー2018」へ応募することを認めます。

平成 年 月 日

親権者署名 _____ 印

住 所 〒 _____

電話番号 _____

「バドミントン未来創造アカデミー2018」

学校長確認書

学校名			
生徒氏名		学年	年

上記の者が「バドミントン未来創造アカデミー2018」へ応募することを確認しました。

平成 年 月 日

学校名 _____

校長名 _____